

Variable Pressure Series

TAK'S PERFORMANCE PARTS

VPクラッチ取付説明書

TPP001	99年以降	1450cc
TPP002	98年以降	1340～1550cc
TPPRW	99年以降	1450～1690cc

【重要】この取り付け説明書は、普段からハーレーダビッドソンの整備に従事されているプロのメカニック向けに公開しております。個人様での取り付けは推奨致しません。また、個人様が取り付けした場合の保障は一切致しかねますので、何卒ご了承ください。

ジャッキもしくは木片等をサイドスタンドにかまして、バイクを立ててからダービーカバーを外してください。

- ①クラッチケーブルをいっぱいまでゆるめる。
- ②ノーマルリテーナーの状態で作動アジャスタースクリーンを調整する。スクリーンを締めこんで、軽く当たったところから1/2～1回転戻す。(調整は写真のように軽く持つ事)
*必ずエンジンが冷えている状態で調整してください。
- ③10mmのソケットでリテーナーを少しずつ均等に緩めて、ひっぱりながら取り外す。
- ④ベースプレートの6つの突起を少し外に曲げる。

*目安はプレッシャープレートの角度くらいです。
曲げすぎても何ら問題ありませんのでご安心下さい。

- ⑤ベースプレートをダイヤフラムスプリングの内側に入れる。この時ベースプレートの1箇所広い部分から入れていく。しっかり奥まで入ったのを確かめる。

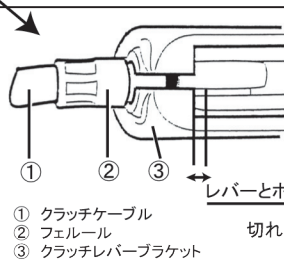
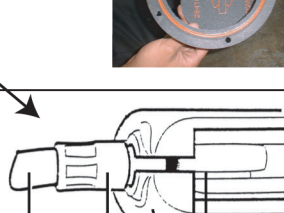
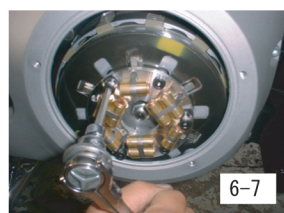
*このプレートはレバーの圧力を分散させる為と、プレッシャープレートをキズつけないためのものです。

- ⑥TPP可変圧クラッチを取り付ける。
まず1つのフィンガーを下にして入れると入れやすい。
- ⑦キットのボルトを使用して均等に締め付けていく。5mmの六角レンチを使用。この時ダイヤフラムスプリングがずれていない事を確かめてからボルトを締め始める事。
最後に10.2から12.4Nmのトルクで締める。
- ⑧ガスケットについてはノーマルのものを写真のようにハサミでカットするか、別売りのOリングをお買い求め下さい。
- ⑨クラッチケーブルを調整する。ケーブルは引っ張らないでレバーとホルダーのすき間で3mm以上あそびをとる事。
- ⑩ダービーカバーのボルトを1個飛ばしにして締める。
最後に9.5から12.2Nmのトルクで締めれば出来上がり。
レバーを握ってスムーズなら完了です。

！重要！

- *必ずエンジンが冷えている状態で調整してください。
- *2004年以降のヘリカルギアトランスミッションは3/4回転以上戻しがおすすです。

クラッチアジャスタースクリーンは 1/2～1回転あけて、レバーのあそびは3mm以上とってください。
怠ると半クラッチ状態となる可能性があります。



レバーとホルダーのすき間で3mm以上のあそびが必要
切れが良い為、あそびを多くとっても構いません。

- (注1) VPクラッチは過激な走行でもクラッチが滑らないように設計されています。もし、滑るようであれば、もう一度マニュアルどおりに調整していただければ解決します。これらのほとんどの原因は調整によるものです。
- (注2) 多走行距離の車両はクラッチディスクの点検、測定をお願いします。
サービスマニュアルにしたがって、必要であればクラッチディスクの交換をしてください。

完了です。クラッチの軽さ、圧力の変わり等を楽しんでより良いハーレーライフを送ってください。

TPP取扱店各位

TPPクラッチ単体の販売はおやめください。指定取り扱い店以外での装着で発生した不具合についての保証は致しかねます。あらかじめご了承ください。



TAK'S PERFORMANCE PARTS

〒791-2113 愛媛県伊予郡砥部町拾町3-1
H-D BluePanther T.P.P.Dep Tel : 089-958-1080

↓製品のアップデートや情報は↓
www.bluepanther.jp
取付け説明ビデオもあります。